

	<p>代表的な検査所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 病理検査</li> <li>□ 尿検査；蛋白尿</li> <li>□ 血液検査；低アルブミン血症</li> </ul> <p>等</p> <p>参考資料</p> <p>重篤副作用疾患別対応マニュアル：ネフローゼ症候群</p> <p><a href="http://www.info.pmda.go.jp/juutoku/file/jfm1003007.pdf">http://www.info.pmda.go.jp/juutoku/file/jfm1003007.pdf</a></p>	
全身播種性BCG感染症	<p>疾病概要：</p> <p>BCGが全身に播種した状態である。</p> <p>代表的な臨床所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 全身症状（例；発熱、咳嗽）</li> <li>□ リンパ節腫脹</li> <li>□ 病変部の臓器症状（肺、骨、皮膚等）</li> </ul> <p>等</p> <p>代表的な検査所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 菌の証明（喀痰、胃液、胸水、髄液）</li> <li>□ 血液検査：炎症所見</li> <li>□ 画像検査：リンパ節腫大、空洞病変、粟粒陰影</li> </ul> <p>等</p>	1年
BCG骨炎・骨髄炎・骨膜炎	<p>疾病概要：</p> <p>BCGによる骨炎、骨髄炎、骨膜炎である。</p> <p>代表的な臨床所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 局所症状（例；病変部の腫脹、疼痛、腫瘤等）</li> </ul> <p>等</p> <p>代表的な検査所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 菌の証明</li> <li>□ 画像：骨の透亮像、膿瘍形成</li> </ul> <p>等</p>	2年
皮膚結核様病変	<p>疾病概要：</p> <p>真性（正）皮膚結核や結核疹等結核菌によって皮膚に起こる病変の総称である。</p> <p>代表的な臨床所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 皮疹（全身性、限局性）</li> </ul> <p>代表的な検査所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 菌の証明</li> <li>□ 病理検査：類上皮肉芽腫、Langhans巨細胞</li> </ul> <p>等</p>	3ヶ月
化膿性リンパ節炎（BCG）	<p>疾病概要：</p> <p>病原微生物のリンパ流への侵入により、リンパ節に炎症を起こし、化膿した状態である。</p> <p>代表的な臨床所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 全身症状（例；発熱、倦怠感）</li> <li>□ 局所症状（例；リンパ節での膿瘍、瘻孔の形成）</li> </ul> <p>代表的な検査所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 菌の証明</li> <li>□ 血液検査</li> </ul>	4ヶ月
血管迷走神経反射 (失神を伴うものに限る)	<p>疾病概要：</p> <p>自律神経のバランスが崩れ、血圧の低下、徐脈が生じる病態であり、脳血流が低下して失神に至ることがある。</p> <p>代表的な臨床所見：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 失神</li> <li>□ 悪心</li> <li>□ 発汗</li> <li>□ 血圧の低下</li> </ul> <p>等</p>	30分

## (別紙様式2)

## 予防接種後に発生した症状に関する報告書 (保護者用)

患者 (予防接種を受けた者)	氏名		性別	1 男 2 女	接種時 年齢	歳	月
	住所				生年月日	T S H	年 月 日生
	保護者氏名			電話番号			
予防接種を実施した者 (医師名等)	氏名						
	医療機関名				電話番号		
	住所						
今回報告する 症状を診断 した医師  (※)接種者と 異なる場合	氏名	1 主治医 2 その他 ( )					
	医療機関名				電話番号		
	住所						
接種の状況	接種日	平成	年	月	日	午前・午後	時 分
	接種した ワクチンの種類				ワクチンの ロット番号		
	同時接種した ワクチン				同時接種した ワクチンの ロット番号		
	予防接種前の問診時での留意点(アレルギー・基礎疾患・発育・最近1カ月以内のワクチン接種や病気等)						
	1 有						}
	2 無						
今回報告する 症状の概要	診断名						
	発生時刻	平成	年	月	日	午前・午後	時 分
	概要(症状・徴候・臨床経過・診断・検査等)						
予 後	1 死亡 (剖検所見						)
	2 入院 (病院名:			入院日	. . .	退院日	. . . )
	3 後遺症 (						)
	4 その他 (						)
回復状況	1 回復している 2 まだ回復していない 3 不明						

出力ファイルの設定値

項目名(2行目)	元 ファイル 列	表 ファイル 列
都道府県	1	1
年齢	2	
月齢	3	
年齢コード	16	2
ポリオ1型 抗体価	4	5
ポリオ1型 抗体価 単位	5	6
ポリオ2型 抗体価	6	7
ポリオ2型 抗体価 単位	7	8
ポリオ3型 抗体価	8	9
ポリオ3型 抗体価 単位	9	10
集計区分	18	3
集計区分詳細	19	4
OPV(生)	10	
IPV(不活化)	11	
DPT-IPV	17	
DPT-IPV(阪大微研)	12	
DPT-IPV(化血研)	13	
DPT-IPV(製造所不明)	14	

ディレクトリ構成

麻しん集計ツール .xlsm ←実行ファイル  
都道府県マスタ

```

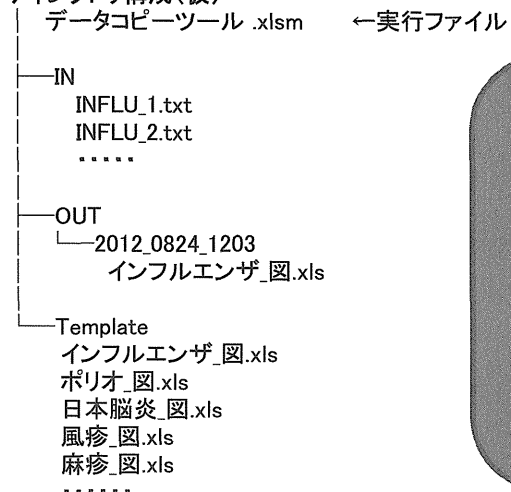
├──OUT
│   ├──2012_0824_1203
│   │   ├──〇〇.csv
│   │   ├──E〇〇.csv
│   │   └──ポリオ集計ツール表.xls
│   └──Template
│       └──ポリオ集計ツール表.xls
    
```

参照

メッセージ

実行

ディレクトリ構成(仮)



1. 「マッピング表」シートに必要な事項を記載してください
2. 「Template」フォルダにコピー先となるエクセルファイルを入れてください
3. 「IN」フォルダにコピー元となるtxtファイル(中身はCSV形式)を入れてください
4. 「データコピー実行 !」ボタンを押下してください
5. 終了のポップアップがでたら、メッセージを確認してください
6. 「OUT」フォルダの中にある結果を確認してください

結果

メッセージ

正常に終了しました

データコピー 実行 !

条件

作成する表	
日本地図1年度分	作成する
日本地図3年度分	作成する

ファイル	
C:\Documents and Settings\k_kimura\デスクトップ\2012年度作業\感染症\marumori_日本地図\0	参照
C:\Documents and Settings\k_kimura\デスクトップ\2012年度作業\感染症\marumori_日本地図\0	参照
C:\Documents and Settings\k_kimura\デスクトップ\2012年度作業\感染症\marumori_日本地図\0	参照

凡例情報

単位	%
----	---

以上		未満	色 & パターン	日本地図1		日本地図3	
				凡例行	凡例列	凡例行	凡例列
95	～			32	6	44	14
90	～	95		33	6	45	14
85	～	90		34	6	46	14
80	～	85		35	6	47	14
75	～	80		36	6	48	14
	～	75		37	6	49	14

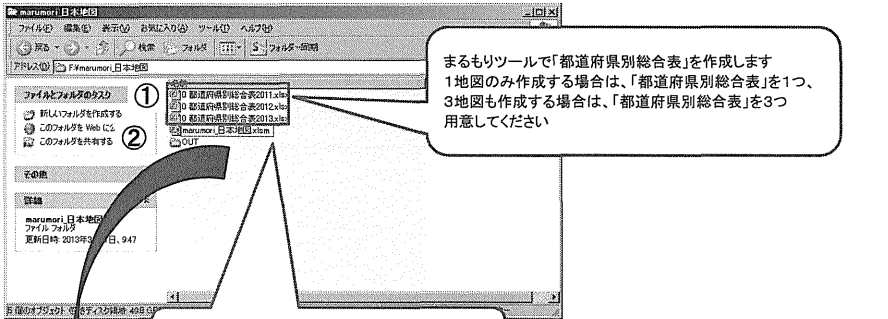
結果

メッセージ

作成が終了しました OUTフォルダにある2013\_0309\_200016フォルダを確認してください

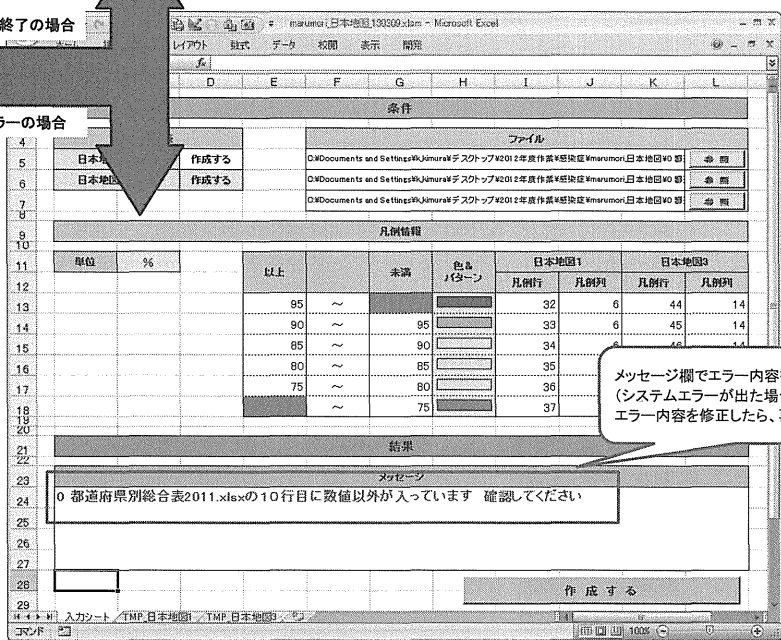
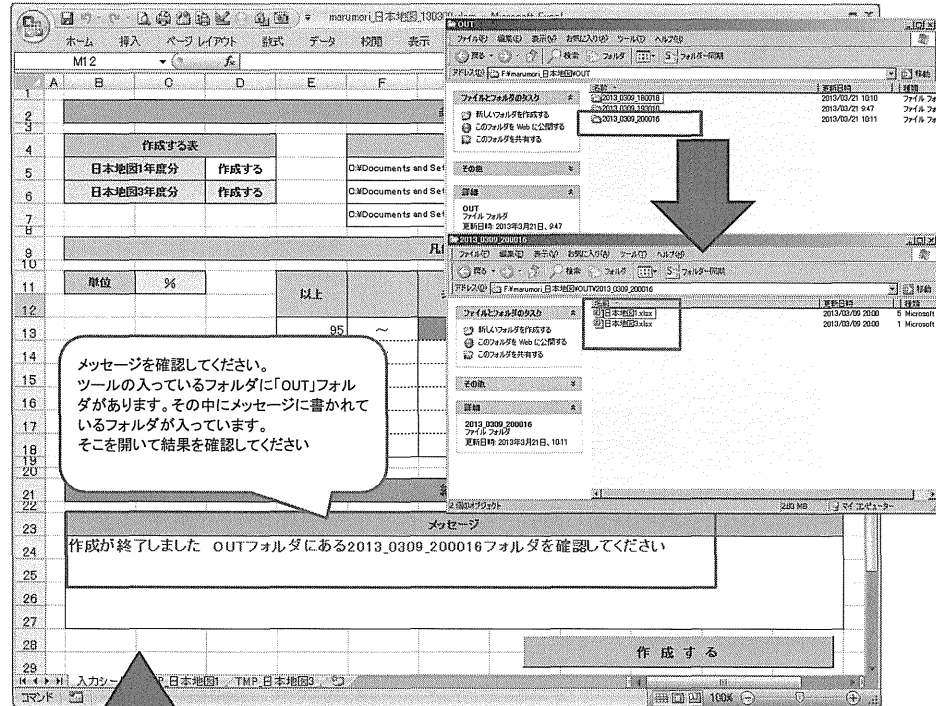
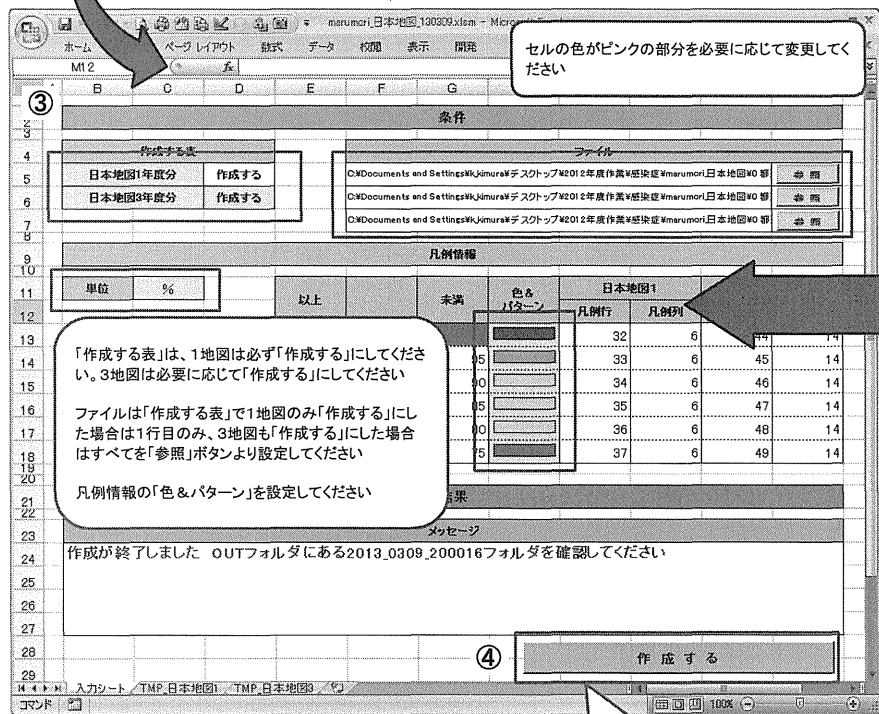
作成する

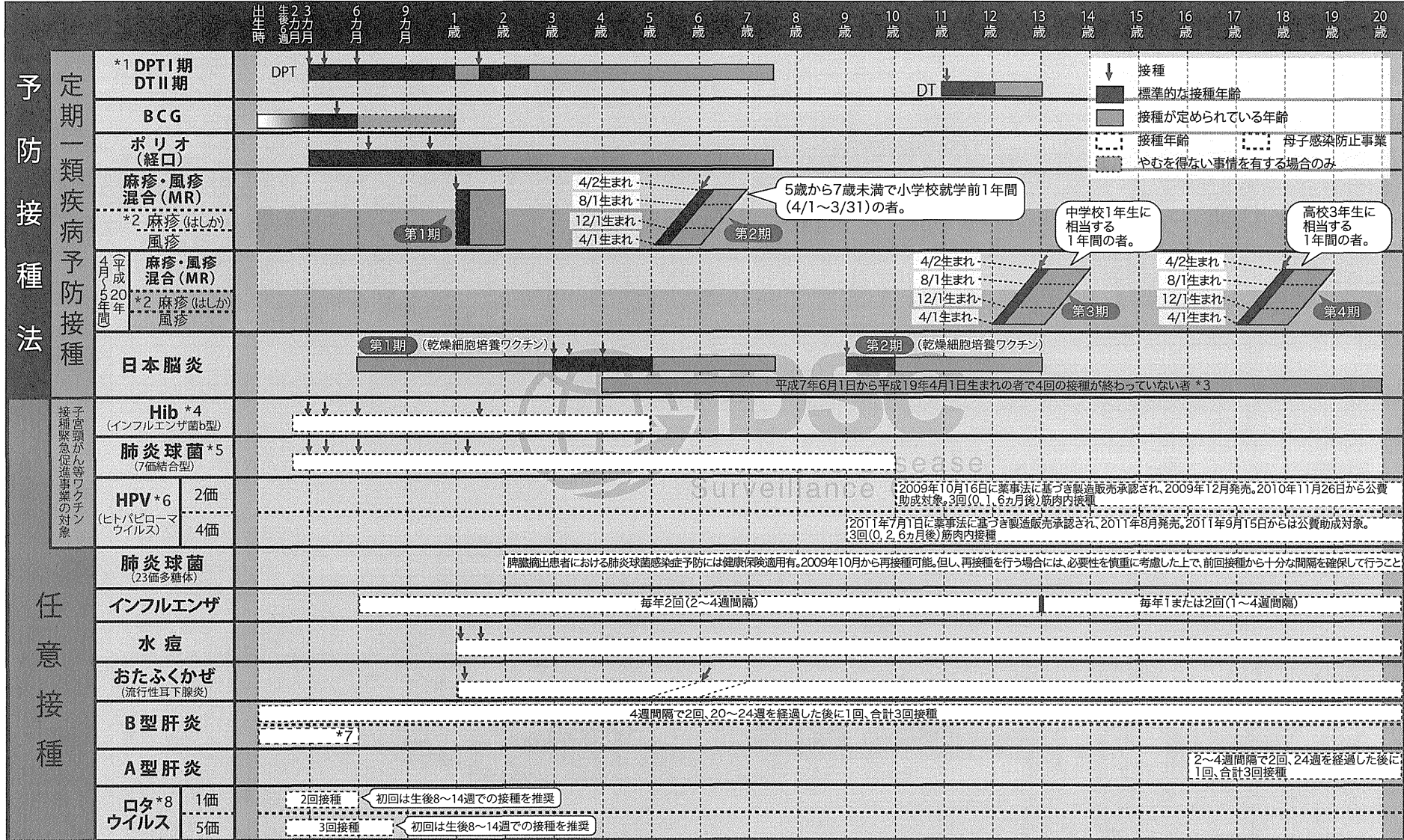
# まるもりツール(日本地図作成)の使い方



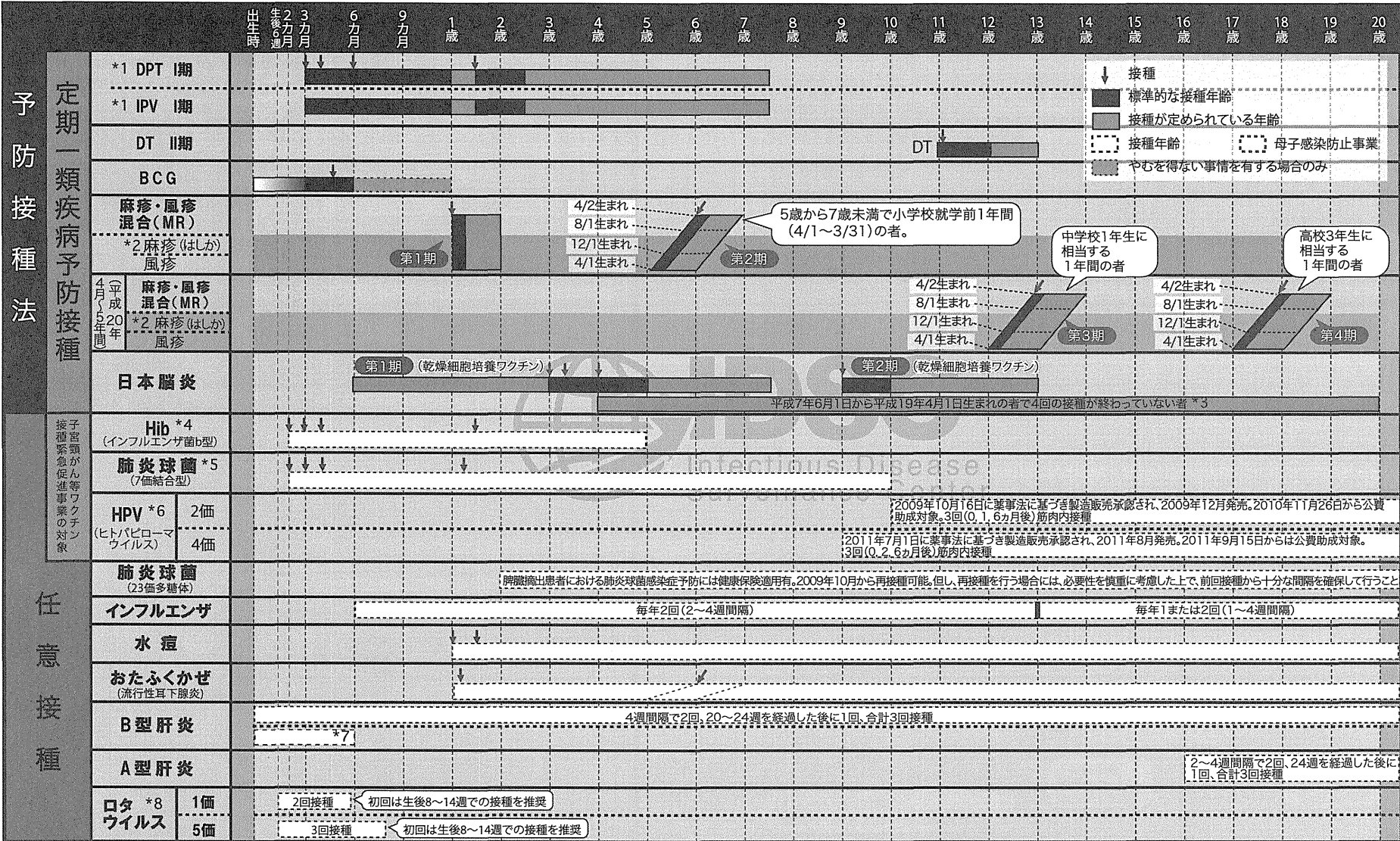
まるもりツールで「都道府県別総合表」を作成します  
1地図のみ作成する場合は、「都道府県別総合表」を1つ、  
3地図も作成する場合は、「都道府県別総合表」を3つ  
用意してください

「marumori\_日本地図」をダブルクリックして起動します。



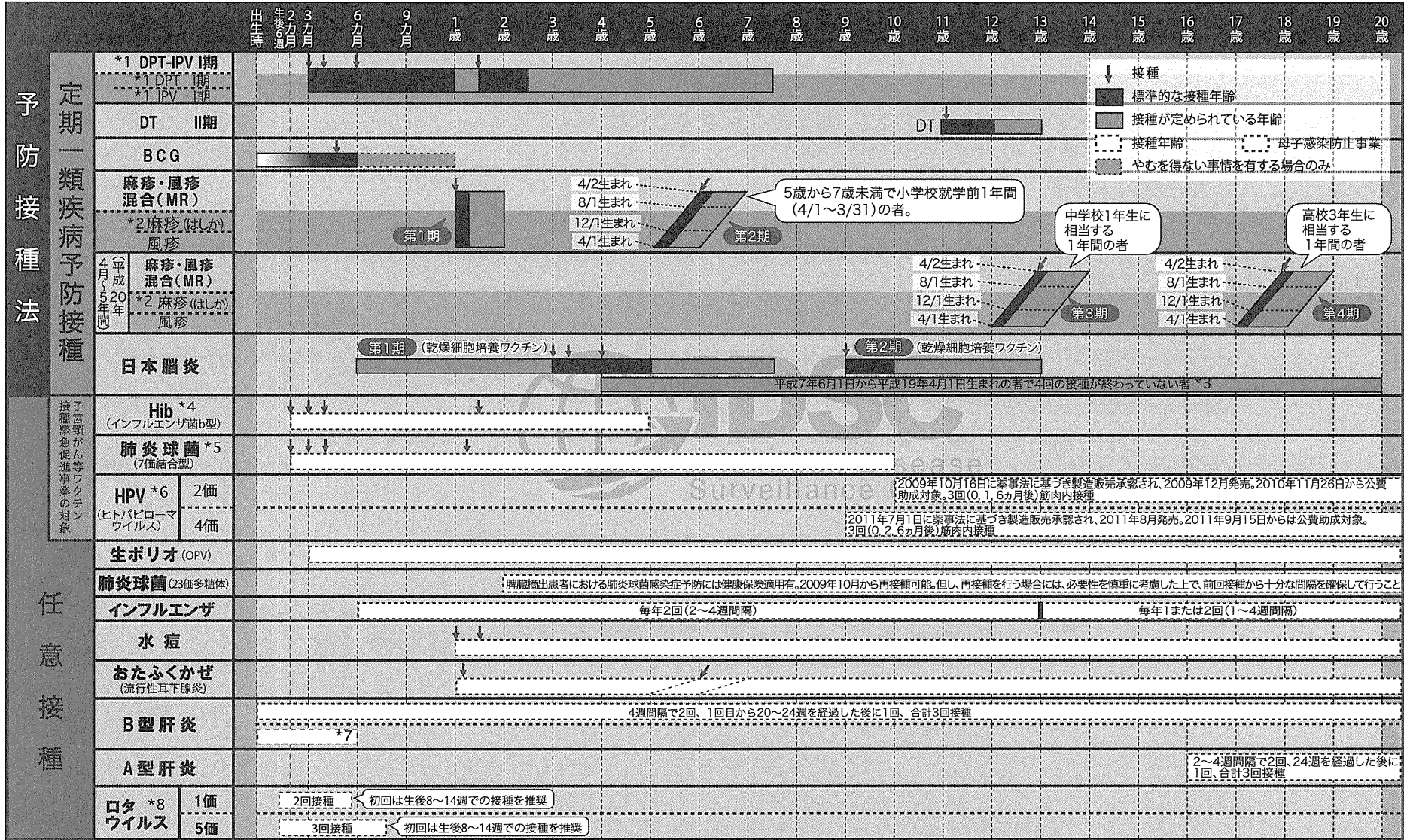


\*1 D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風を表す。  
 \*2 原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。  
 \*3 第1期としてMRワクチンを接種。なお、この年齢で残りの回数を定期接種として受けられます。なお、平成24年度に8歳となる者及び9歳となる者への第1期初回接種、10歳となる者への第1期追加接種は積極的勧奨の対象となります。詳しくは、平成24年2月28日付厚生労働省健康局長・医薬食品局長通知「日本脳炎の定期の予防接種について」の一部改正(健発0228第2号、薬食発0228第1号)をご確認ください。  
 \*4 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2か月以上5歳未満の間に行うが、標準として生後2か月以上7か月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4~8週間の間隔で3回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。3回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が生後7か月以上12か月未満の場合は、通常、4~8週間の間隔で2回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。2回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常、1回皮下接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。  
 \*5 2009年10月16日に薬事法に基づき製造販売承認され、2010年2月24日から国内での接種開始。生後2か月以上7か月未満で開始し、27日間以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12~15か月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のようなスケジュールで接種。生後7か月以上12か月未満の場合：27日以上の間隔で13歳になる年度から16歳になる年度の間で追加接種を1歳以降に1回接種。1歳：60日間以上の間隔で2回接種。2歳以上9歳以下：1回接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。  
 \*6 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。左記事業の対象年齢は、13歳になる年度から16歳になる年度の者(あるいは12歳になる年度から15歳になる年度の者)  
 \*7 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性(HBe抗原陽性、陰性の両方とも)の母親からの出生児は、出生後できるだけ早期及び、生後2か月にHB免疫グロブリン(HBIG)を接種。ただし、HBe抗原陰性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。更に生後2,3,5か月にHBワクチンを接種する。生後6か月後にHBs抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う(健康保険適用)。  
 \*8 ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は「1価の2回接種」、5価で始めた場合は「5価の3回接種」となります。



\*1 D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風、IPV:不活化ポリオを表す。IPVは2012年9月1日から定期接種に導入。回数は4回接種ですが、OPVを1回接種している場合は、IPVをあと3回接種します。2012年9月現在、4回目の接種はまだ定期接種としては実施できません。国内でのデータがそろい次第導入される予定です。OPV(生ポリオワクチン)は2012年9月1日以降定期接種としては使用できなくなります。2012年11月1日からDPT-IPV混合ワクチンが定期接種に導入される予定です。  
 \*2 原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。  
 \*3 第1期で受けそびれていた人も、この年齢で残りの回数を定期接種として受けられます。なお、平成24年度に8歳となる者及び9歳となる者への第1期初回接種、10歳になる者への第1期追加接種は積極的勧奨の対象となります。詳しくは、平成24年2月28日付厚生労働省健康局長・医薬食品局長通知「日本脳炎の定期の予防接種について」の一部改正(健発0228第2号、薬食発0228第1号)をご確認ください。  
 \*4 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2ヵ月以上5歳未満の間にある者に行うが、標準として生後2ヵ月以上7ヵ月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4~8週間の間隔で3回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。3回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が生後7ヵ月以上12ヵ月未満の場合は、通常、4~8週間の間隔で2回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。2回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常、1回皮下接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。  
 \*5 2009年10月16日に薬事法に基づき製造販売承認され、2010年2月24日から国内での接種開始。生後2ヵ月以上7ヵ月未満で開始し、27日間以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12~15ヵ月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のようなスケジュールで接種。生後7ヵ月以上12ヵ月未満の場合:27日以上の間隔で2回接種したのち、60日間以上あけて追加接種を1歳以降に1回接種。1歳:60日間以上の間隔で2回接種。2歳以上9歳以下:1回接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。  
 \*6 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。左記事業の対象年齢は、13歳になる年度から16歳になる年度の者(あるいは12歳になる年度から15歳になる年度の者)  
 \*7 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性(HBe抗原陽性、陰性の両方とも)の母親からの出生児は、出生後できるだけ早期及び、生後2ヵ月にHB免疫グロブリン(HBIG)を接種。ただし、HBe抗原陰性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。更に生後2,3,5ヵ月にHBワクチンを接種する。生後6ヵ月後にHBs抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う(健康保険適用)。  
 \*8 ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は「1価の2回接種」、5価で始めた場合は「5価の3回接種」となります。





\*1 D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風、IPV:不活化ポリオを表す。IPVは2012年9月1日から定期接種に導入。回数は4回接種ですが、OPVを1回接種している場合は、IPVをあつ3回接種します。OPV(生ポリオワクチン)は2012年9月1日以降定期接種としては使用できなくなりました。2012年11月1日からDPT-IPV混合ワクチンが定期接種に導入されます。IPVで接種を開始した場合、DPT-IPVで接種を開始した場合は、それぞれ原則として同じワクチンで接種を完了します。

\*2 原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。

\*3 第1期で受けずれていた人も、この年齢で残りの回数を定期接種として受けられます。なお、平成24年度に8歳となる者及び9歳となる者への第1期追加接種は積極的勧奨の対象となります。詳しくは、平成24年2月28日付厚生労働省健康局長・医薬品食品局長通知「日本脳炎の定期の予防接種について」の一部改正(健発0228第2号、薬食発0228第1号)をご確認ください。

\*4 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2ヵ月以上5歳未満の間にある者に行うが、標準として生後2ヵ月以上7ヵ月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4~8週間の間隔で3回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。3回目の接種後おおむね1年の間隔を置いて、1回皮下接種。接種開始が生後7ヵ月以上12ヵ月未満の場合は、通常、4~8週間の間隔で2回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。2回目の接種後おおむね1年の間隔を置いて、1回皮下接種。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常、1回皮下接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。

\*5 2009年10月16日に薬事法に基づき製造販売承認され、2010年2月24日から国内での接種開始。生後2ヵ月以上7ヵ月未満で開始し、27日間以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12~15ヵ月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のようなスケジュールで接種。生後7ヵ月以上12ヵ月未満の場合: 27日以上の間隔で2回接種したのち、60日間以上あけて追加接種を1歳以降に1回接種。1歳: 60日間以上の間隔で2回接種。2歳以上9歳以下: 1回接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。

\*6 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。左記事業の対象年齢は、13歳になる年度から16歳になる年度の者(あるいは12歳になる年度から15歳になる年度の者)

\*7 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性(HBe抗原陽性、陰性の両方とも)の母親からの出生児は、出生後できるだけ早期及び、生後2ヵ月にHB免疫グロブリン(HBIG)を接種。ただし、HBe抗原陰性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。更に生後2.3.5ヵ月にHBワクチンを接種する。生後6ヵ月後にHBs抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う(健康保険適用)。

\*8 ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は「1価の2回接種」、5価で始めた場合は「5価の3回接種」となります。

# 乳幼児予防接種スケジュール Ver 2

国立感染症研究所 感染症情報センター

- 注1) 本スケジュール案は、2012年現在、接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。
- 注2) 接種に際しては次の決まりがあります。スケジュールを立てるときの参考にしてください。別の種類のワクチンを接種する場合は、以下のように接種することになっています。
- 「生ワクチンの接種後は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます。(例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます。)」
- 「不活化ワクチン接種後は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます。(例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます。)」

2012年4月1日改定

# 乳幼児予防接種スケジュール

乳幼児の予防接種スケジュール(例: その1)

同時接種を希望するが、1回に受ける数は2種類以下を希望する場合  
(受診回数: インフルエンザを除いて18回または19回)

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン  
 ※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGとポリオは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能  
 ※※※ 日本小児科学会推奨薬

<b>生ワクチン</b>	別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます (例: 月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)	● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)
<b>不活化ワクチン</b>	別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます (例: 月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)	▲ 経口の生ワクチン
		○ 注射の不活化ワクチン

制度	年齢 月齢	0歳																																																																																			
		0カ月							1カ月							2カ月							3カ月							4カ月							5カ月							6カ月							7カ月							8カ月							9カ月							10カ月							11カ月						
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47																																				
定期接種	DPT※																						○																○																																														
	BCG※※	●																																																																																			
	ポリオ※※																																																																																				
	MR (麻疹・風疹)																																																																																				
(任意接種) ワクチン接種 緊急促進事業	日本脳炎																																																																																				
	ロタウイルス												またほ											またほ																																																													
	B型肝炎																																																																																				
	水痘																																																																																				
	おたふくかぜ																																																																																				
	インフルエンザ																																																																																				
	Hib(インフルエンザ菌b型)																																																																																				
PCV7 (小児用肺炎球菌)																																																																																					
		毎年10~11月に2~4週の間隔で2回接種(1回目と2回目は、できれば3~4週間空ける)。遅くとも12月中旬までに2回目の接種を終了させる。																																																																																			

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

\* ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』。5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

制度	年齢 月齢	1歳							2歳	3歳	4歳	小学校入学前1年間 6歳になる年度 幼稚園・保育所最年長組相当	接種回数							
		12カ月	13カ月	14カ月	15カ月	16カ月	17カ月	18~23カ月					ワクチンの接種	接種回数						
定期接種	DPT※								○						DPT※	4回				
	BCG※※	●														BCG※※	1回			
	ポリオ※※															ポリオ※※	2回			
	MR (麻疹・風疹)															MR (麻疹・風疹)	2回			
(任意接種) ワクチン接種 緊急促進事業	日本脳炎															○		日本脳炎	3回	
	ロタウイルス															○		2回目の接種からおおむね1年後	ロタウイルス* (1価または5価)	2回(1価) 3回(5価)
	B型肝炎															○		B型肝炎	3回	
	水痘															○		水痘	2回※※※	
	おたふくかぜ															○		おたふくかぜ	2回※※※	
	インフルエンザ	毎年10~11月に2~4週の間隔で2回接種(1回目と2回目は、できれば3~4週間空ける)。遅くとも12月中旬までに2回目の接種を終了させる。																インフルエンザ	毎年2回	
	Hib(インフルエンザ菌b型)															○			Hib (インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)
PCV7 (小児用肺炎球菌)															○			PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)	

# 乳幼児予防接種スケジュール

乳幼児の予防接種スケジュール(例: その2)  
同時接種を希望する場合(受診回数: インフルエンザを除いて14回)

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン  
※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGとポリオは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能  
※※※ 日本小児科学会推奨案

● 生ワクチン: 別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます  
(例: 月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)

● 不活化ワクチン: 別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます  
(例: 月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)

● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)  
▲ 経口の生ワクチン  
○ 注射の不活化ワクチン

制度	年齢	0歳																																																			
	月齢	0カ月				1カ月				2カ月				3カ月				4カ月				5カ月				6カ月				7カ月				8カ月				9カ月				10カ月				11カ月							
	週齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47				
定期接種	DPT※																		○																																		
	BCG※※																																																				
	ポリオ※※																																																				
	MR (麻疹・風疹)																																																				
	日本脳炎																																																				
(任意接種)	ロタ* ウイルス																																																				
	B型肝炎																																																				
	水痘																																																				
	おたふくかぜ																																																				
	インフルエンザ																																																				
(任意接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)																																																				
	PCV7 (小児用肺炎球菌)																																																				

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けたと仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

\* ロタウイルスワクチンは  
初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』、  
5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

毎年10~11月に2~4週の間隔で2回接種(1回目と2回目は、できれば3~4週間空ける)。遅くとも12月中旬までに2回目の接種を終了させる。

2~4週間隔

2回目の接種からおおむね1年後

毎年10~11月に2~4週の間隔で2回接種(1回目と2回目は、できれば3~4週間空ける)。遅くとも12月中旬までに2回目の接種を終了させる。

制度	年齢	1歳							2歳	3歳	4歳	小学校入学前1年間 6歳になる年度 幼稚園・保育所最長年長組相当	接種回数		
		12カ月	13カ月	14カ月	15カ月	16カ月	17カ月	18~23カ月					ワクチンの接種	接種回数	
定期接種	DPT※													DPT※	4回
	BCG※※													BCG※※	1回
	ポリオ※※													ポリオ※※	2回
	MR (麻疹・風疹)													MR (麻疹・風疹)	2回
	日本脳炎													日本脳炎	3回
(任意接種)	ロタ* ウイルス													ロタウイルス* (1価または5価)	2回(1価) 3回(5価)
	B型肝炎													B型肝炎	3回
	水痘													水痘	2回※※※
	おたふくかぜ													おたふくかぜ	2回※※※
	インフルエンザ													インフルエンザ	毎年2回
(任意接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)													Hib (インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)
	PCV7 (小児用肺炎球菌)													PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)







# 乳幼児予防接種スケジュール

同時接種を希望する場合(受診回数：インフルエンザを除いて14回)

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン  
 ※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGとポリオは単独になっているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能  
 ※※※ 日本小児科学会推奨案  
 ※※※※ 麻疹が流行している場合は、緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンの接種をする場合があります

■ 生ワクチン 別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます(例：月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)

■ 不活化ワクチン 別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます(例：月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)

□ 定期接種・ワクチン接種緊急促進事業で受けられる期間 ● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)

◐ 任意接種として接種可能な期間 ▲ 経口の生ワクチン

◑ 緊急避難的に単体抗原ワクチンを接種する場合があります ○ 注射の不活化ワクチン

お子様の氏名	生年月日	年	月	日
--------	------	---	---	---

乳幼児の予防接種スケジュール(例: その2)  
 同時接種を希望する場合(受診回数：インフルエンザを除いて14回)

制度	年齢 月齢 週齢	0歳											1歳							2歳	3歳	4歳	小学校入学前1年間 6歳になる年度 幼稚園・保育所 最年長組相当	接種回数									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					18	23	ワクチンの接種	接種回数						
定期接種 (任意外接種)	DPT※																															DPT※	4回
	BCG※※																															BCG※※	1回
	ポリオ※※※																															ポリオ※※※	2回
	MR(麻疹・風疹)																															MR(麻疹・風疹)	2回
	日本脳炎																															日本脳炎	3回
	ロタウイルス* 1価 5価																															ロタウイルス* (1価または5価)	2回(1価) 3回(5価)
	B型肝炎																															B型肝炎	3回
	水痘																															水痘	2回※※※
	おたふくかぜ																															おたふくかぜ	2回※※※
	インフルエンザ																															インフルエンザ	毎年2回
任意接種 (任意外接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)																														Hib (インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)	
	PCV7 (小児用肺炎球菌)																														PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)	
	注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。 * ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は「1価の2回接種」、5価で始めた場合は「5価の3回接種」となります。																																

乳幼児の予防接種スケジュール(記載用) お子様のスケジュールを書き込んで下さい

制度	年齢 月齢 週齢	0歳											1歳							2歳	3歳	4歳	小学校入学前1年間 6歳になる年度 幼稚園・保育所 最年長組相当	接種完了チェックリスト										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					18	23	ワクチンの接種	接種回数	完了した場合は○						
定期接種 (任意外接種)	DPT※																															DPT※	4回	
	BCG※※																															BCG※※	1回	
	ポリオ※※※																															ポリオ※※※	2回	
	MR(麻疹・風疹)																															MR(麻疹・風疹)	2回	
	日本脳炎																															日本脳炎	3回	
	ロタウイルス* 1価 5価																															ロタウイルス* (1価または5価)	2回(1価) 3回(5価)	
	B型肝炎																															B型肝炎	3回	
	水痘																															水痘	2回※※※	
	おたふくかぜ																															おたふくかぜ	2回※※※	
	インフルエンザ																															インフルエンザ	毎年2回	
任意接種 (任意外接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)																														Hib (インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)		
	PCV7 (小児用肺炎球菌)																														PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)		

↓ ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

DPT※	BCG※※	ポリオ※※※	MR(麻疹・風疹)	日本脳炎	ロタウイルス(1価)	B型肝炎	水痘	おたふくかぜ	Hib(インフルエンザ菌b型)	PCV7 (小児用肺炎球菌)

↓ インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい/毎年2回

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳



# 乳幼児予防接種スケジュール

単独接種を希望する場合(受診回数: インフルエンザを除いて29回または30回)

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン  
 ※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGとポリオは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能  
 ※※※ 日本小児科学会推奨案  
 ※※※※ 麻疹が流行している場合は、緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンの接種をする場合があります

**生ワクチン** 別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます(例: 月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)

**不活化ワクチン** 別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます(例: 月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)

○ 定期接種・ワクチン接種緊急促進事業で受けられる期間  
 ● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)  
 ▲ 経口の生ワクチン  
 ○ 注射の不活化ワクチン

● 任意接種として接種可能な期間  
 ● 緊急避難的に単体抗原ワクチンを接種する場合はある

乳幼児の予防接種スケジュール(例: **その3**)  
 単独接種を希望する場合(受診回数: インフルエンザを除いて**29回**または**30回**)

お子様の氏名	生年月日	年 月 日
--------	------	-------

制度	年齢	0歳												1歳						小学校入学前1年間 6歳になる年度 幼稚園・保育所 最年長組相当	接種回数							
		月齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		17	18~23	2歳	3歳	4歳	ワクチンの接種	接種回数	
定期接種 (任意外接種)	DPT※																									DPT※	4回	
	BCG※※																										BCG※※	1回
	ポリオ※※※																										ポリオ※※※	2回
	MR (麻疹・風疹)																										MR (麻疹・風疹)	2回
	日本脳炎																										日本脳炎	3回
	ロタ* ウイルス* 1価 5価																										ロタウイルス* (1価または5価)	2回(1価) 3回(5価)
	B型肝炎																										B型肝炎	3回
	水痘																										水痘	2回※※※
	おたふくかぜ																										おたふくかぜ	2回※※※
インフルエンザ																										インフルエンザ	毎年2回	
Hib (インフルエンザ菌b型)																										Hib (インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)	
PCV7 (小児用肺炎球菌)																										PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)	

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けることと仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

\* ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』、5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

乳幼児の予防接種スケジュール(記載用) お子様のスケジュールを書き込んで下さい

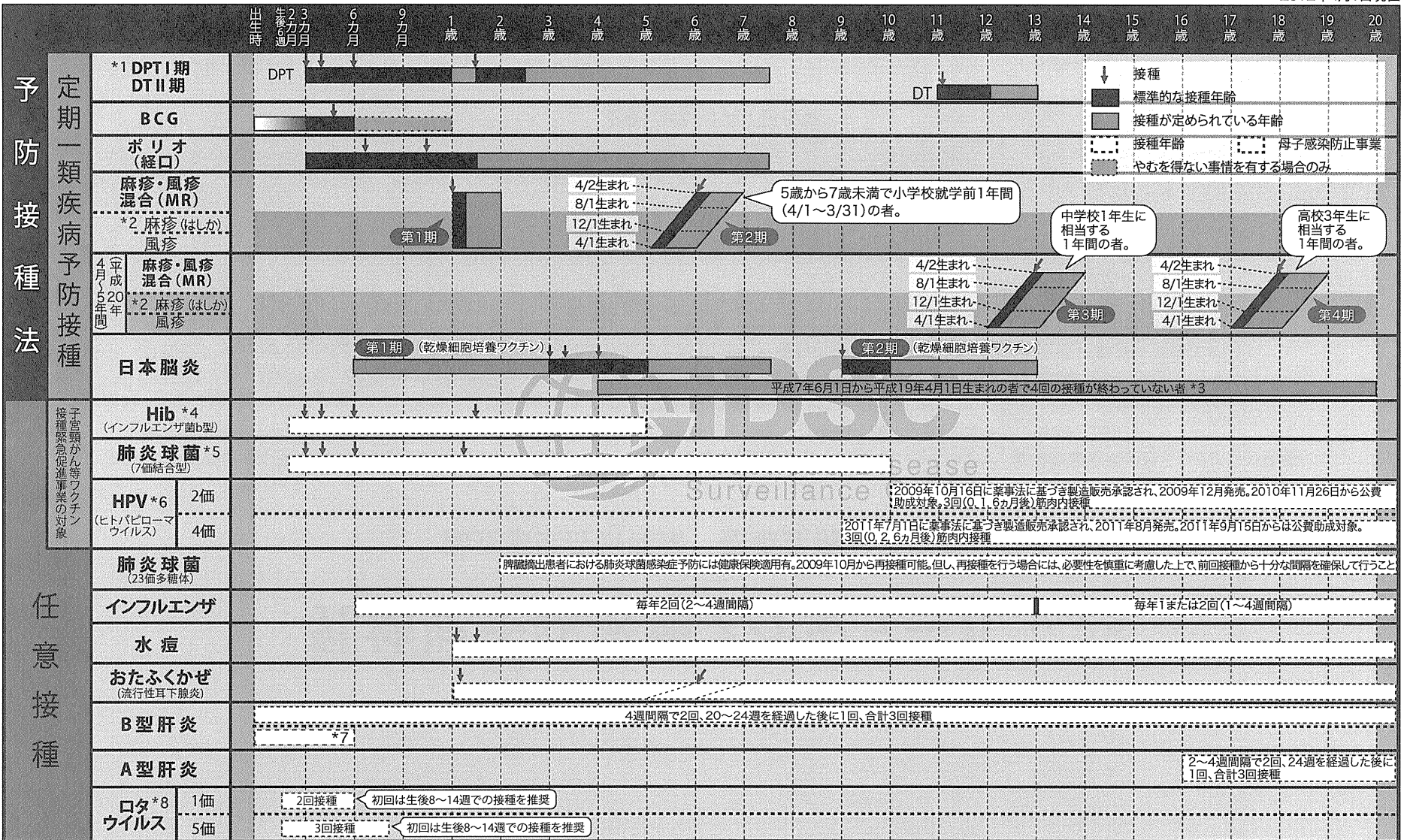
制度	年齢	0歳												1歳						小学校入学前1年間 6歳になる年度 幼稚園・保育所 最年長組相当	接種完了チェックリスト							
		月齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		17	18~23	2歳	3歳	4歳	ワクチンの接種	接種回数	
定期接種 (任意外接種)	DPT※																										DPT※	4回
	BCG※※																										BCG※※	1回
	ポリオ※※※																										ポリオ※※※	2回
	MR (麻疹・風疹)																										MR (麻疹・風疹)	2回
	日本脳炎																										日本脳炎	3回
	ロタ* ウイルス* 1価 5価																										ロタウイルス* (1価または5価)	2回(1価) 3回(5価)
	B型肝炎																										B型肝炎	3回
	水痘																										水痘	2回※※※
	おたふくかぜ																										おたふくかぜ	2回※※※
インフルエンザ																										インフルエンザ	毎年2回	
Hib (インフルエンザ菌b型)																										Hib (インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)	
PCV7 (小児用肺炎球菌)																										PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)	

↓ ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

↓ インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい: 毎年2回

DPT※	BCG※※	ポリオ※※※	MR (麻疹・風疹)	日本脳炎	ロタウイルス(1価)	B型肝炎	水痘	おたふくかぜ	Hib (インフルエンザ菌b型)	PCV7 (小児用肺炎球菌)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳





\*1 D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風を表す。  
 \*2 原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。  
 \*3 第1期で受けそびれていた人も、この年齢で残りの回数を定期接種として受けられます。なお、平成24年度に8歳となる者及び9歳となる者への第1期初回接種、10歳となる者への第1期追加接種は積極的勧奨の対象となります。詳しくは、平成24年2月28日付厚生労働省健康局長・医薬食品局長通知「日本脳炎の定期の予防接種について」の一部改正(健発0228第2号、薬食発0228第1号)をご確認ください。  
 \*4 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2か月以上5歳未満の間に行うが、標準として生後2か月以上7か月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4~8週間の間隔で3回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。3回目の接種後おおむね1年の間隔を置いて、1回皮下接種。接種開始が生後7か月以上12か月未満の場合は、通常、4~8週間の間隔で2回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。2回目の接種後おおむね1年の間隔を置いて、1回皮下接種。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常、1回皮下接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。  
 \*5 2009年10月16日に薬事法に基づき製造販売承認され、2010年2月24日から国内での接種開始。生後2か月以上7か月未満で開始し、27日間以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12~15か月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のようなスケジュールで接種。生後7か月以上12か月未満の場合: 27日間以上の間隔で2回接種したのち、60日間以上あけて追加接種を1歳以降に1回接種。1歳: 60日間以上の間隔で2回接種。2歳以上9歳以下: 1回接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。  
 \*6 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。左記事業の対象年齢は、13歳になる年度から16歳になる年度の者(あるいは12歳になる年度から15歳になる年度の者)  
 \*7 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性(HBe抗原陽性、陰性の両方とも)の母親からの出生児は、出生後できるだけ早期及び、生後2か月にHB免疫グロブリン(HBIG)を接種、ただし、HBe抗原陽性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。更に生後2,3,5か月にHBワクチンを接種する。生後6か月後にHBs抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う(健康保険適用)。  
 \*8 ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は「1価の2回接種」、5価で始めた場合は「5価の3回接種」となります。

# 乳幼児予防接種スケジュール Ver 3

国立感染症研究所 感染症情報センター

- 注1) 本スケジュール案は、2012年現在、接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。
- 注2) 接種に際しては次の決まりがあります。スケジュールを立てるときの参考にしてください。別の種類のワクチンを接種する場合は、以下のように接種することになっています。
- 「生ワクチンの接種後は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます。(例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます。)」
- 「不活化ワクチン接種後は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます。(例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます。)」

2012年11月1日改定